



公明党ニュース

発行／練馬区議会公明党 発行所／〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 電話／03-5984-1011(直通) <http://www.nerimakugikai-komei.com>

災害から区民の命を守る!!

東日本大震災(2011年3月11日)より7年が経過しました。これまで区議会公明党は、避難拠点の備蓄物資の充実、女性の視点による災害対策の推進、情報伝達手段の充実等に取り組んでまいりました。

練馬区では、震度5弱以上の地震が発生した場合、区立全小中学校が「避難拠点」となります。そのため公明党は、避難拠点である「学校施設の防災機能の強化」を強く主張。平成30年度予算では、これについて大きな成果をあげることができました。

強化
ポイント

全小中学校の体育館に 冷暖房機を設置します

体育館は、児童生徒の学校教育の場・地域コミュニティーの場・災害時の避難拠点の場です。公明党は、夏の暑さと冬の寒さ対策として体育館の冷暖房機の設置を強く求め、強力に推進しました。その結果、平成30年度からおよそ10年かけて全小中学校に冷暖房機を設置することが決定いたしました。また平成30年度には、全小中学校に大型扇風機3台も配備します。



学校体育館

強化
ポイント

LEDランタン (各10台)を配備

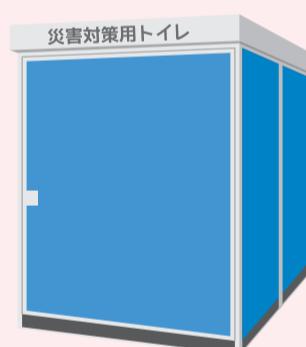


避難拠点での明かり対策充実のため、LEDランタンを10台配備します。

強化
ポイント

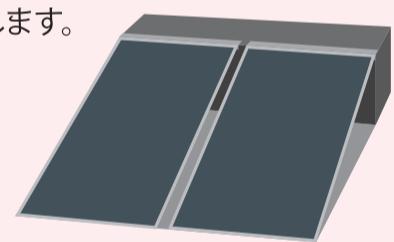
パネル式組立トイレ (各1セット)を配備

今後3年間で全拠点にパネル式組立トイレを配備します。透けることなく、内鍵も付いていて女性も安心して使えます。

強化
ポイント

可搬型スロープ (各1台)を配備

バリアフリー対策として、避難拠点で車いすを使用する際など活用する可搬型スロープを配備します。



保育所待機児童を0へ

◆公明党の待機児童対策により

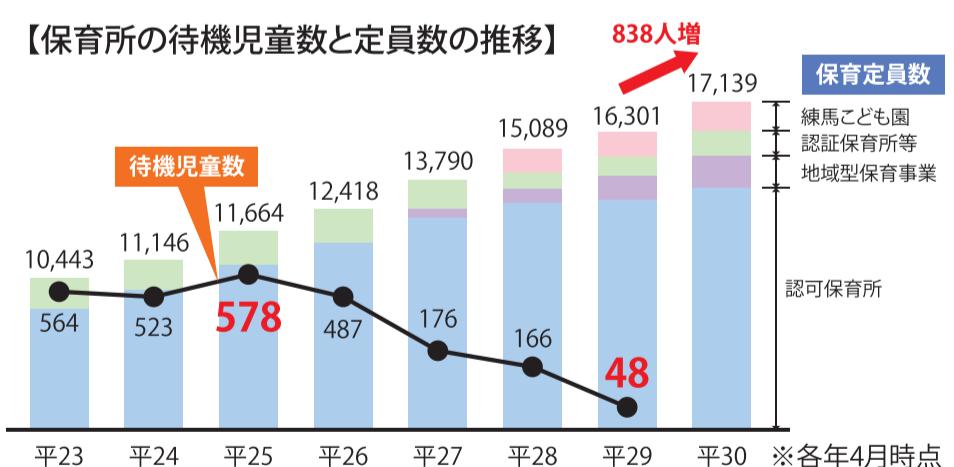
今まで500名以上いた待機児童が昨年4月には48名に減少することが出来ました。これは練馬区が今まで4年間で4,637人、毎年平均1,000人以上の定員枠を拡大してきたことによります。全国でも上位に入ります。

さらに平成30年度も650人の定員枠を拡大し待機児童解消にむけて全力で取り組んでまいります。

◆3歳児1年保育(80名)を開始

平成30年4月より練馬地区において保育ステーションからバス送迎を行い、区立幼稚園3園を活用して「3歳児1年保育」を行います。これも公明党の提案によるものです。

【保育所の待機児童数と定員数の推移】



練馬区議会公明党は区民の皆様のために働きます!



宮原よしひこ

内田ひろのり

斎藤しづお

うすい民男

吉田ゆりこ

みつなが勉

柳沢よしみ

さかい妙子

西野こういち

平野まさひろ

小川こうじ

宮崎はるお

練馬区議会公明党が実現!

中3生に英検の検定料を全額補助

英語教育を推進するため、希望する区立中学3年生を対象に、実用英語技能検定(英検)の検定料を全額補助します。

1人につき1回。検定は6月、10月、1月の年3回で学校に申請します。



子ども家庭支援センターに「のびのびひろば」(仮称)を開設

4月から区内5か所の子ども家庭支援センターの地域活動室に子どもの発達に不安のある保護者と児童が過ごせる「のびのびひろば」を開設します。様々な相談も受けることができます。ひろばは、月1回10時から15時まで実施されます。



高齢者相談センターが25か所の「地域包括支援センター」に変わります

高齢者相談センター4か所と支所25か所が、平成30年度より25か所の地域包括支援センターとなります。すべてのセンターで、高齢者世帯への訪問支援や在宅療養、認知症の相談支援を実施します。窓口には、医療・介護連携推進員を配置します。

「高齢者在宅生活あんしん事業」を開始



高齢者世帯の在宅生活を支援するため、緊急通報システムなどの見守り事業や配食サービス、緊急時の自宅への駆けつけサービスなどを一体的に実施します。

病床の確保と医療機能の整備

公明党の推進により安心して生活できる医療の充実を図ります。



- 練馬光が丘病院の移設整備: 100床程度増床、平成34年度中に開院予定
- 順天堂練馬病院の増床と医療機能の充実: 90床増床、平成32年度中に完成予定
- 高野台運動場用地への病院誘致: 200床程度、平成33年度中に開院予定

胃がん検診で内視鏡検査を実施

胃がん検診で内視鏡検査とエックス線検査を選択できるようになりました。

平成30年度は、50歳の方に実施されます。

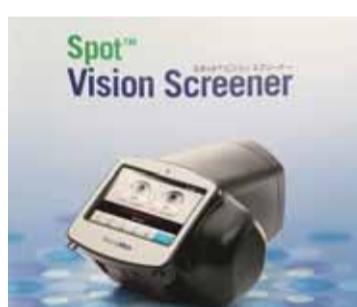
(対象者:昭和43年4月1日~昭和44年3月31日生まれの方)



弱視を早期に発見するため「視機能検査機器」を導入

子どもの目の機能は生まれて6歳までに完成します。そこで公明党は弱視の早期発見と治療を訴え、平成28年からは、視能訓練士を配置しました。

さらにこの度、公明党が提案していた視機能検査機器が保健相談所に導入されることになりました。



視機能検査機器

精神障害者1級に心身障害者福祉手当の支給が実現

心身障害者福祉手当は、身体・知的障害者と、難病患者等に対して支給されていました。公明党の要望で、平成30年度より精神障害者手帳1級者を新たに加え、支給が開始されます。

特別養護老人ホーム2施設を開設



施設数
都内No.1!

(仮称)上石神井幸朋苑イメージ図

国有地を活用した「(仮称)上石神井幸朋苑」(定員40人)および「(仮称)特別養護老人ホーム第2練馬さくらの杜」(定員83人)が平成31年4月に開設されます。これにより区内施設数は31か所、定員2,191人になります。

団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度までに、さらに800人分の整備を進めます。

振り込め詐欺防止へ自動通話録音機を貸与



振り込め詐欺対策のため、区内在住65歳以上を対象に自動通話録音機1,000台を貸し出します。
(申込先・貸出先:練馬区役所危機管理課、区内3警察署)